

広報

EBETSU

えべつ

あなたとまちをつなぐ

目次

- 2 令和8年度 江別市の予算
- 6 【ごみコミえべつ】 バッテリーが外せない小型家電製品の捨て方 ほか
- 8 忘れていませんか？ 国民年金の手続き ほか
- 9 えべつ生活応援商品券 ほか
- 23 カラスの対応 Q&A ほか

2026

4

vol.1038



ミラノ・コルティナオリンピック
スキージャンプ日本代表 ^{にかいどう} 二階堂 ^{れん} 蓮選手

感動をありがとう

江別市の予算

【詳細】
財政課 ☎ 381-1010



基本方針

令和8年度は、えべつ未来づくりビジョン（第7次江別市総合計画）の3年次目であり、引き続き、同計画に掲げる将来都市像「幸せが未来へつづくまち えべつ」を目指し、「いつまでも元気なまち」「みんなで支え合う安心なまち」「子どもの笑顔があふれるまち」「自然とともに生きるまち」「新しい時代に挑戦するまち」の5つの基本理念に基づき、予算を編成しました。

最大の課題である少子高齢・人口減少対策と、地域経済活性化のため、「えべつ未来戦略」と「江別市総合戦略」を中枢に据え、戦略に位置づける事業を重点的・集中的に進めます。

また、「一人にも企業にも選ばれるまち」を目指し、市長が示した8つの課題に対しても、引き続き積極的に取り組みます。

なお、市役所新庁舎については、実施設計が完了することから、計画どおり建設に着手します。

予算規模が拡大

歳入は、個人市民税や固定資産税の増加により市税の増加が見込まれるほか、地方交付税、地方消費税交付金、諸収入が増加しています。

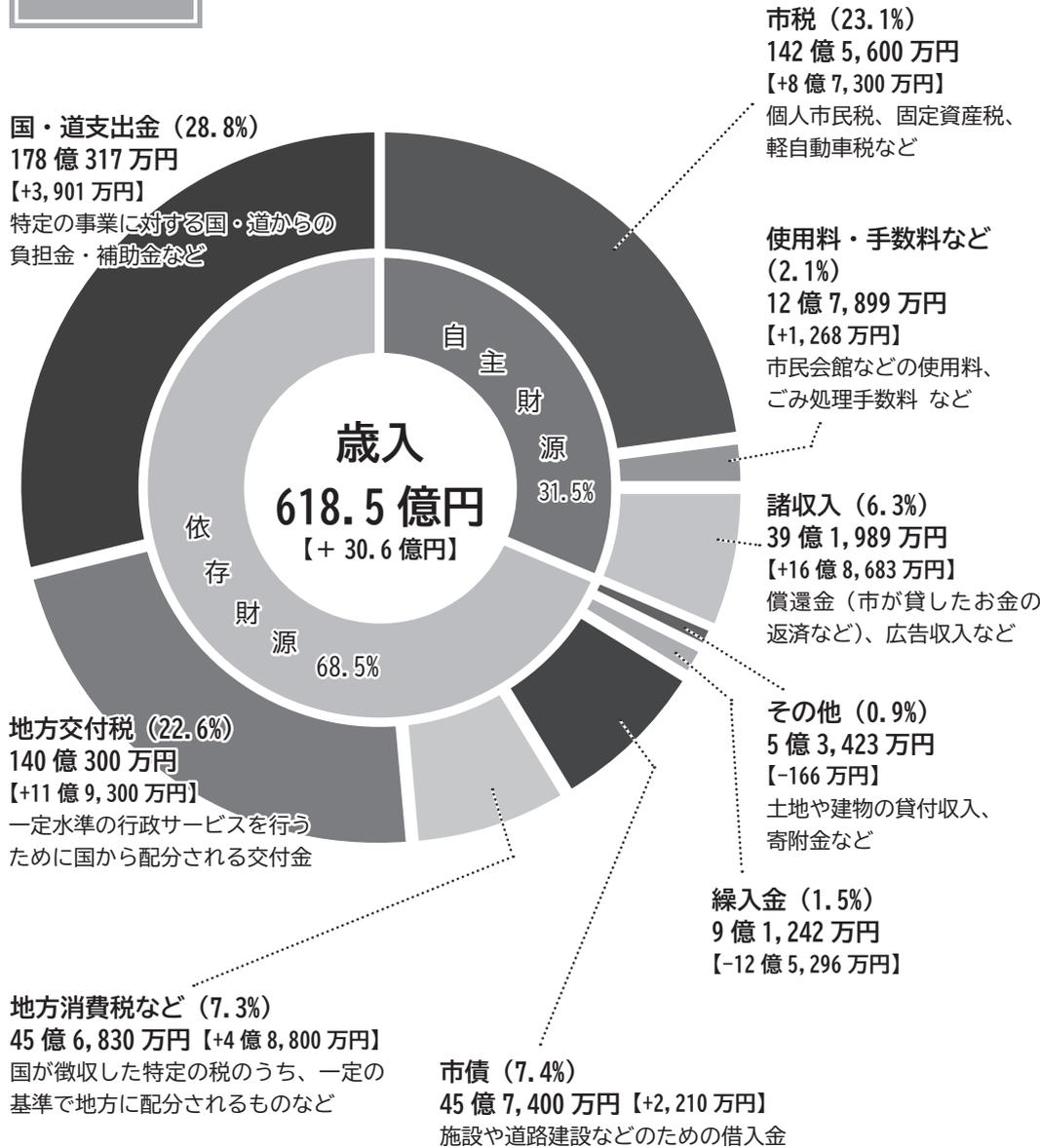
歳出は、新庁舎の建設開始、高齢化などによる社会保障費の増加、物価高騰、労務単価の上昇などにより、全体的に増加しています。

基金残高は増加の見込み

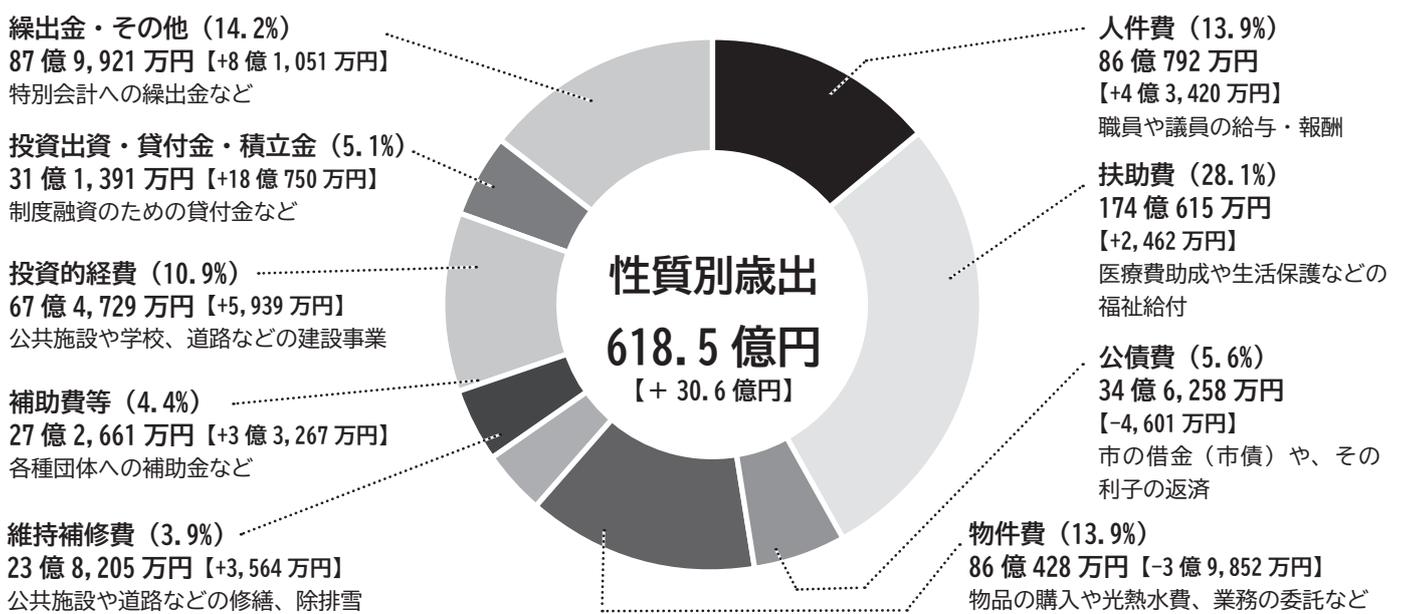
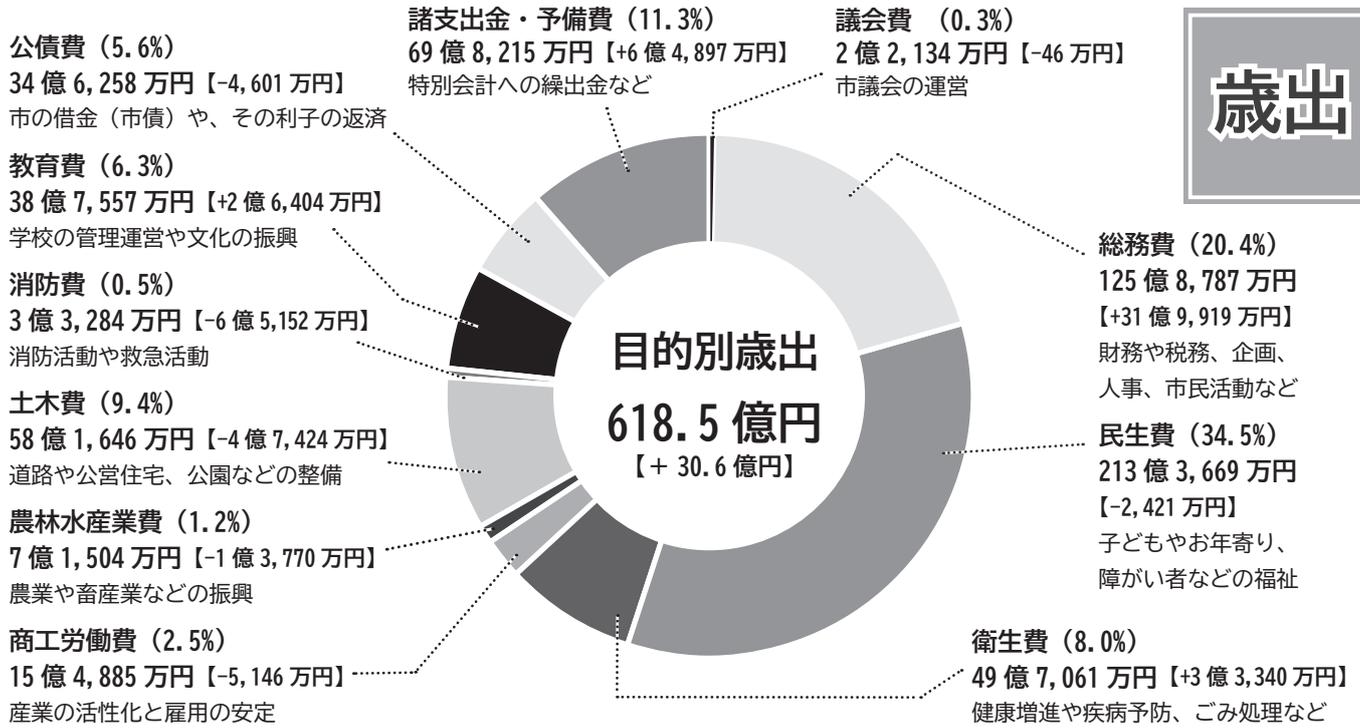
基金は、大型事業の実施、災害や不測の

歳入

【 】内は前年度比
※1万円未満の金額を整理して記載しています



歳出



特別会計の予算

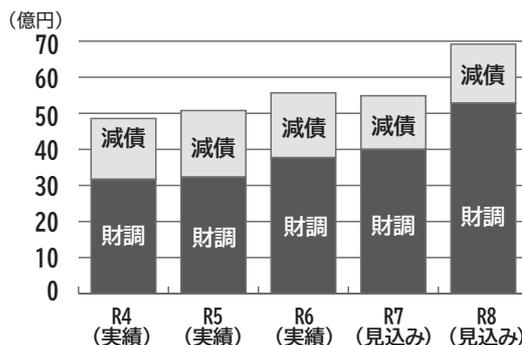
270 億 9,100 万円

(前年度比 5 億 4,700 万円増)

- ・国民健康保険特別会計
…117 億 6,500 万円
- ・後期高齢者医療特別会計
…25 億 9,000 万円
- ・介護保険特別会計
…119 億 4,800 万円
- ・基本財産基金運用特別会計
…7 億 8,800 万円

財政調整・減債基金の年度末残高の推移

財政調整基金は災害などに備える基金、減債基金は市債の返済に備える基金です。基金総額は近年増加しており、将来への備えが進んでいます。



事態への備えなど、目的を持って積み立て、活用しています。
基金残高は、積み立て額が取り崩し額を上回るため、増加する見込みです。

主な事業

「絵で見る江別市予算案（えべつ未来戦略）」からピックアップした主な事業を紹介します。



戦略1 子どもが主役のまちをつくる



子育てひろば ぽこ あぽこ

- **保育人材等確保対策事業**
保育従事者の養成や、保育士などの人材確保のための補助（3,278万円）
- **放課後児童クラブ運営費補助金**
民間放課後児童クラブの運営費に係る補助（3億5,496万円）
- **地域子育て支援拠点事業**
「子育てひろば ぽこ あぽこ」などの子育て支援拠点の運営（9,305万円）
- **不登校児童生徒支援事業**
不登校の児童生徒の支援や、教育の機会と居場所の確保（2,744万円）

戦略2 幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける



野菜摂取レベル測定器

- **健康づくり推進事業**
生活習慣病の予防や、こころの健康づくりなど、地域の健康づくり活動の推進（717万円）
- **成人検診推進事業**
がん検診などの受診勧奨、受診しやすい環境づくりの実施（9,100万円）
- **健康都市推進事業**
野菜摂取量測定機器を活用した啓発など健康意識向上のための取り組み（196万円）
- **生涯活躍のまち推進事業**
地域交流事業の実施や障がい者の就労環境の充実（752万円）

戦略3 みんなの働きがいと、元気な経済をつくる

- **企業立地等補助金**
新規立地、増設などに対する補助金やサテライトオフィス設置推進補助金（4,785万円）
- **企業と人材のマッチング支援事業**
まちなか仕事プラザの運営、求職者や事業者向けセミナーの開催、高校生と企業の体験型交流会の実施（1,651万円）

戦略4 地域から地球温暖化防止に挑む

- **脱炭素推進事業**
太陽光発電設備と蓄電池を導入する市民への補助、啓発セミナーなどの実施（1,262万円）
- **環境教育等推進事業**
えべつ環境広場や市民環境講座などによる環境保全への意識啓発（394万円）

戦略5 デジタル技術で住みよい明日を切りひらく



農業用ドローン

- **えべつデジタルマップ事業（道路台帳）**
道路台帳図や地籍図をデジタル化し、インターネットで公開（1億9,621万円）
- **除排雪管理システム導入事業**
除雪作業量などを自動計算するシステムの導入、大雪時の迅速な除排雪計画の構築、除雪路線の公表（5,734万円）
- **スマート農業機械導入促進事業**
スマート農業機械を導入する市内農業者に対して補助金を交付（400万円）

市立病院

【詳細】経営企画課

財務係
☎ 382-5151



予算と前年度(決算見込)の比較増減

区分		R8年度	R7年度 (決算見込み)	比較増減
入院	収益	43.0億円	38.1億円	4.9億円
	患者数	79,205人	73,395人	5,810人
	1日平均患者数	217人	201人	16人
外来	収益	16.8億円	16.1億円	0.7億円
	患者数	132,791人	131,041人	1,750人
	1日平均患者数	551人	541人	10人
当年度純損益		-4.0億円	-5.0億円	1.0億円
一般会計繰入金		17.0億円	17.2億円	-0.2億円
一般会計長期借入金残高		0円	24.7億円	-24.7億円

令和7年度は、「江別市立病院経営強化プラン（令和6年度～10年度）」の2年目として、計画で掲げている「地域の医療をつなぎ、地域に密着した医療を提供し、地域の発展に貢献する病院」を実現するために、さまざまな取り組みを行いました。

また、「高度先進地域医療」（患者に寄り添う原点帰の医療とデジタル技術を駆使した高度な先進的医療の融合という考え方）の実現に向けて、

令和8年度は、強化プラン見直し後の初年度となります。物価高騰や人件費の上昇など、医療を取り巻く環境は大きく変化していますが、地域に求められる、救急や手術などの急性期医療を提供するため、職員一丸となって医療の質と経営の質の両立を目指し、次の事項に取り組みます。

主な取り組み事項

1 「断らない医療」を実践し、地域の医療機関との連携のもと、市民に信頼される病院づくりを進める

- ・「断らない医療」を実践するための仕組みを構築し、紹介患者の受け入れを拡大
- ・効率的かつ機能的な体制を整備し、安定的な救急応需を継続
- ・「消化器病センター」の体制を強化し、消化器内科と外科の連携により、消化器系疾患の受け入れを積極的に推進
- ・新たな診療科の開設などにより、救急や手術などの地域の急性期医療体制を強化

2 入院：紹介患者受け入れ促進や診療単価増の取り組みによる収益最大化

- ・診療報酬制度に即した病床利用の最適化
- ・リハビリテーション介入の質と量の更なる向上
- ・産後ケア事業（日帰り型・宿泊型）の拡大

3 外来：医療資源の有効活用と外来機能の高度化と専門化

- ・「紹介受診重点医療機関」の指定を念頭に置いた、紹介患者の受け入れと逆紹介の推進
- ・「北海道がん診療連携指定病院」の指定を念頭に置いた緩和

ケアチームの運営

- ・医育大学との連携による認知症医療の更なる充実

4 健診センターの機能強化促進、予防医療の充実

- ・健診者へのサービス向上と収益増加に向けた、オプション検査の導入
- ・健診から外来受診（骨粗しょう症外来など）へつなげるための仕組みの更なる整備

5 広報活動の充実と地域関係機関との連携推進

- ・診療内容などを分かりやすく発信するためのHPや各種媒体の充実
- ・地域医療連携システムの接続医療機関の拡大に向けた取り組み
- ・可能な限り市内で完結できる医療体制の確立に向けて、「地域医療連携推進法人メディカルアライアンス江別」へ参画

6 高度先進地域医療の実現、医育大学との共同研究

- ・健診センターを拠点とした北海道大学呼吸器内科学教室および市内企業との共同研究への継続的参画
- ・「未来医療創造基金」への寄付などを通じた病院の魅力発信と支援者の受け皿作り

下水道事業会計

57億5,052万円（前年度比+1億9,066万円）

主な事業

- ・管路整備事業 1億5,154万円
- ・管路施設改築更新事業 4億5,792万円
- ・処理場・ポンプ場施設改築更新事業 8億2,825万円

水道事業会計

37億4,157万円（前年度比-3億3,955万円）

主な事業

- ・配水管整備事業 4億5,580万円
- ・配水施設整備事業 1,805万円
- ・浄水施設整備事業 1,359万円

令和8年度の上下水道事業は、上下水道ビジョンに基づき、老朽配水管の更新や耐震化、処理場・ポンプ場の設備更新などを行います。

【詳細】水道部 総務課 財務係
☎ 385-1214

上下水道

ゴミコム えべつ

第85号

【詳細】 廃棄物対策課 ☎ 383-4211

市LINE公式アカウントを友だち登録すると…

ゴミ収集日の朝に 通知が届きます



市LINE公式アカウントでは、ゴミ収集日の朝に、当日回収するごみの種類などをお知らせしています。

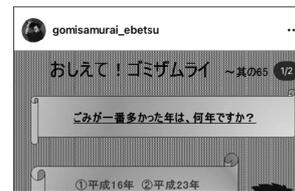
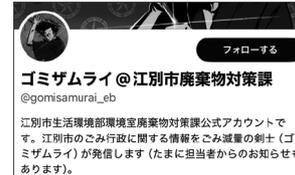
受信設定の「ゴミ収集のお知らせ」で受け取りたい情報をタップします。その後「お住まいの地区」で住所を設定すると、ゴミ収集日に通知が届きます。



ゴミ情報は拙者にお任せ

ゴミザムライ SNS

このアイコンが目印→



食品ロス削減に役立つレシピやごみの分別方法、講習会の様子などを発信しているぞ



貼り紙をして安全に捨てましょう バッテリーが外せない小型家電製品の捨て方

●バッテリーが使われている小型家電製品に要注意

「充電できる製品」や「コンセントにつながるなくても動く製品」には、リチウムイオン電池やバッテリーが使用されている場合があります。

リチウムイオン電池やバッテリーが内蔵された小型家電製品はそれらを取り外して危険ごみに、小型家電製品本体は燃やせないゴミに出してください。



●バッテリーが外せないときは

リチウムイオン電池やバッテリーが外せない小型家電製品をごみとして出す場合は、指定ごみ袋に「バッテリー付き」と貼り紙をして、燃やせないごみの日に出してください。リチウムイオン電池やバッテリーは、衝撃が加わると発火し、火災の原因になることがあります。十分に注意しましょう。



捨てるときには要注意！
バッテリー内蔵の小型家電製品の例



デジタルカメラ



ロボット掃除機



コードレス掃除機



携帯ゲーム機



電動歯ブラシ



電動シェーバー

生ごみ堆肥化容器の購入を助成します

生ごみ堆肥化容器とは、家庭から出る生ごみや落ち葉などから堆肥を作る容器のことです。家庭ごみを堆肥にすることで、ごみを焼却処分する必要がなくなるため、二酸化炭素の排出量を削減できます。

市では、生ごみ堆肥化容器を購入する際に、店頭価格から1,000円を引いた金額（1,000円以下の場合は消費税分を除いた全額）で購入できるよう、助成します。※先着60世帯

●申請方法

1. 申請書を廃棄物対策課へ提出
2. 助成決定通知書が届く
3. 書類を持って市内登録販売店へ行き、購入



市内登録販売店：リビングショップやまもと、長井学園錦町ワークサポート陽だまりの郷、DCM上江別店・元江別店、ジョイフルエーカー大麻店



不要な小型家電製品は

リサイクルしましょう

不要となった小型家電製品は回収サービスを利用してリサイクルしましょう。市内で利用できるリサイクルサービスを紹介します。

●リネットジャパンリサイクル(株)

パソコンなどの宅配回収事業を実施していて、江別市と協定を結んでいます。

【回収手順】

①リネットジャパン(株)のHP(左下の二次元コード)から回収の申し込みをする ※インターネットが利用でき



ない方は直接電話で申し込んでください
☎0570-0851800

10時～17時

②パソコンなどを段ボール箱に詰める

③希望日時を指定し、宅配業者に回収してもらう

【注意】

・データは自分で消去してください(無料消去ソフトの提供サービスあり)

・モニターなどの周辺機器、その他の小型家電製品も一緒に回収できます

・パソコンを含む段ボール1箱分(3辺の合計が140cm

以内、重さ20kg以内)は回収料金が無料です

●じゅんかんコンビニ24／リサイクルステーション

市内合計3カ所に回収ボックスが設置されています。回収対象となる小型家電製品の品目は左の二次元コードからご確認ください。

【市内店舗】

・じゅんかんコンビニ(24時間)

・江別店(向ヶ丘3-1)

・大麻元町店(大麻元町161-52)

リサイクルステーション(9時～12時)

・上江別店(上江

別430-19)



お買い物は「てまえどり」を意識しよう

食品を購入した後すぐに食べる場合には、商品棚の手前にあることが多い販売期限の迫った商品を積極的に選ぶ「てまえどり」にご協力をお願いします。

「てまえどり」は、食品ロス削減の効果が期待されています。



ペットボトル専用収集日を活用しましょう

月に1度、ペットボトル専用収集日があります。その日はペットボトル以外は収集できません。ほかの資源物(びん、缶など)は出さないでください。



小さなことからSDGsに貢献

マイバッグ、マイボトルを持参しましょう

買い物にはマイバッグを、飲み物を飲む時にはマイボトルを持参してみましょう。日常の小さなことからごみの減量に取り組んでみませんか。



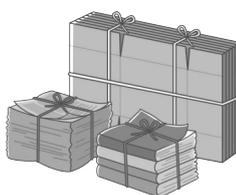
集団資源回収を利用しましょう

新聞紙や雑誌、段ボールなどは集団資源回収に出しましょう。



市で収集する「資源物」とは違い、回収品目や回収日などは地域ごとに異なります。各自治会や学校などが決めています。

詳細は廃棄物対策課(☎383-4211)へお問い合わせください。



ごみの日、ごみの出し方がすぐ分かる

ごみ出しアプリ「5374.jp」を使いましょう

スマートフォン、タブレット、パソコンなどで、お住まいの地域の収集日やごみの分別を手軽に調べられるアプリ「5374.jp」を公開しています。ぜひご活用ください。



すでにホーム画面に追加している方
アプリの更新が必要です



スマートフォンのホーム画面に追加して利用している方は、アプリの更新が必要です。更新版はごみ収集日などが変更されています。

【更新方法】

- ①右下の二次元コードからアプリページを開く
- ②お住まいの地域を選択した後、「ホーム画面に追加」をタップする
- ③過去に使用していたアイコンをスマートフォンのホーム画面から削除する



忘れていませんか？

国民年金の手続き

【詳細】

国保年金課 ☎381-1028
新さっぽろ年金事務所
国民年金課 ☎892-9316

20歳以上60歳未満の方は、国民年金への加入が必要です。会社員、公務員の方が退職したときは、厚生年金の資格喪失日から14日以内に国民年金への加入手続きを行ってください。厚生年金に加入している方の配偶者で扶養に入っている方も、配偶者の退職時に手続きが必要です。

国民年金の学生納付特例申請

大学や専門学校に在学中でも、20歳になると国民年金に加入し、保険料を納めなければなりません。

保険料の納付が難しい場合は、学生納付特例の申請ができます。承認されると、在学期間中の保険料の納付が猶予されます。

申請は年度ごとに必要で、令和8年度の申請は4月1日(水)から受け付けが始まります。

※申請は2年1カ月前までさかのぼってすることができます

※令和7年度ですすでに申請が承認されており、令和8年4月以降も在学予定の方には、4月末までに日本年金機構から継続申請のはがきが届きます。そのはがきに必要事項を記入して返送することで、令和8年度の申請ができます

【必要なもの】

・年金手帳などの基礎年金番号が分かるもの、またはマイナンバーカード
・ 社会保険資格喪失証明書
または雇用保険離職票などの離職が確認できる書類

(学校が変わったなどの場合は、はがきでの申請はできません)

【必要なもの】

・基礎年金番号通知書などの基礎年金番号が分かるもの、またはマイナンバーカード
・学生証または在学証明書



マイナポータルで、いつでもどこでも手続きができます！

どちらの手続きも市役所国保年金課、または新さっぽろ年金事務所国民年金課の窓口でできますが、マイナンバーカードをお持ちの方は、マイナポータルから電子申請することも可能です。



固定資産税の「縦覧制度」と「閲覧制度」

【詳細】 資産税課 ☎ 381-1404

■ 縦覧制度

縦覧制度は、納税者が市内の土地や家屋の評価額が載っている価格等縦覧帳簿を見て、自分の資産と比較し、適正であるかを確認できる制度です。

※ 縦覧制度は無料で利用できます

※ 償却資産は縦覧制度の対象ではありません

【対象】

1. 固定資産税の納税者
2. 納税者の代理人（同居の親族以外は委任状が必要）
3. 納税管理人

【縦覧期間】

4月1日(水)～6月1日(月)

※ 平日8時45分～17時15分

■ 閲覧制度

閲覧制度は、納税義務者が評価額や面積など、自分の資産の情報が載っている課税台帳を確認できる制度です。

【対象】

1. 固定資産税の納税義務者
2. 納税義務者の代理人(同居の親族以外は委任状が必要)
3. 納税管理人
4. 借地人や借家人など、土地・家屋の使用や収益を目的とする権利(対価が支払われるものに限る)がある方

【閲覧開始日】

4月1日(水)

【手数料】

縦覧期間中は、令和8年度分に限り無料
それ以外は1件につき300円

※ 縦覧・閲覧場所は市役所本庁舎資産税課窓口です

※ 縦覧・閲覧制度を利用するには本人確認ができるものが必要です。他にも書類などが必要な場合があります。詳しくは市HPをご確認ください



全市民に配布、さらに購入もできます えべつ生活応援商品券



物価高騰の影響を受けている市民と事業者を支援し、地域経済を活性化させるために、「えべつ生活応援商品券」を発行します。商品券は全市民に配布するほか、希望する場合は購入することができます。この事業は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して実施します。詳細は右の二次元コードから確認してください。

【詳細】 商工労働課 ☎ 381-1023



全市民に配布します

1冊 **6,500円分**の商品券
(1人あたり)

対象：令和8年4月15日時点で江別市に住民登録がある市民
発送：5月24日(日)までに順次お届けします



希望する場合は購入もできます

1冊 **6,500円分**の商品券が **5,000円**で購入可能

購入限度：各世帯3冊まで
期 間：6月1日(月)から6月30日(火)まで
購入方法：商品券発送時に同封される購入引換券を、各販売場所へお持ちのうえ購入してください
販売場所：商品券発送時に一覧を同封します
※販売は先着順ではないため、販売期間内の都合の良いタイミングで購入してください

3冊購入で
4,500円お得!



- 【商品券の内訳】 全店共通券と小規模店専用券がセットになった6,500円分の商品券
●全店共通券 1,000円×5枚=5,000円 ※登録されている店舗の全てで使用できます
●小規模店専用券 500円×3枚=1,500円 ※売り場面積が1,000㎡を超える大型店などでは使用できません
- 【使用できる期間】 5月25日(月)から10月31日(土)まで
- 【使用できる店舗】 市内で登録している店舗
※使用できる店舗と販売場所の一覧は、商品券発送時に同封します
- 【問い合わせ先】 「えべつ生活応援商品券」コールセンター ☎ 0120-270-015
午前10時～午後5時 ※土、日、祝日を除く(6月は土、日、祝日も開設)

全国すべての事業所が対象 経済センサス-活動調査を実施します

この調査は、全産業分野の売上金額や費用、従業員数など、事業所の経済活動の実態を把握するために5年ごとに実施され、統計法に基づき回答が義務付けられています。調査結果は、行政政策の基礎資料として政策立案や産業振興などに活用されます。なお、農林漁業に属する個人経営の事業者など、一部調査対象外となる場合があります。詳細は右の二次元コードから確認してください。【詳細】 企画課 ☎ 381-1402



調査方法は？

4月～5月、回答に必要な書類が総務省・経済産業省から郵送されます。ここ数年で新設された事業所には、調査員が訪問して調査書類を配布する場合があります。

回答方法は？

送付された書類に記載している期日までに、インターネットで回答してください。未回答の事業所には、調査員が紙の調査票を配布する場合があります。詳細は送付される書類を確認してください。



かたり調査にご注意ください

調査員は「調査員証」または「業務委託証明書」を携帯しています。不安に感じた場合は、提示を求めるとして確認してください。

問い合わせ先

経済センサス-活動調査コンタクトセンター
4月1日(水)～10月30日(金)
午前9時～午後6時 ※土、日、祝日を除く
・調査全般・回答方法について
☎ 0120-138-102 ※IP電話の場合 ☎ 03-6628-3662
・インターネット回答について
☎ 0120-319-502 ※IP電話の場合 ☎ 03-6628-3663